

「ABINC(エイビック)認証」は、2018年度より 審査を年2回実施することに変更いたします。

第6回ABINC認証申請受付開始のお知らせ

ABINC発足から5年経過し、申請件数の増加や申請者様の利便性向上の一環として、今年度よりABINC認証を年に2回実施する運びとなりました。つきましては「いきもの共生事業所®認証(通称:ABINC認証)」の第6回(2018年度第1回)の申請受付を、7月1日より開始いたします。また、認証に関する事前相談は6月1日から開始いたします。申請事業者の方は事前相談をお受けください。(※事前相談は無料です)

【 ABINC認証の概要 】

- **ABINC 認証とは:** 本認証は、自然と人との共生を企業活動において促進することを目的としており、今回の認証が6回目となります。一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)の「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき、生物多様性に配慮した緑地づくりなどに取り組む工場、オフィスビル、商業施設、集合住宅、戸建住宅、物流施設を、評価・認証します。
- **対 象:** 工場、オフィスビル、商業施設、集合住宅(マンション)等、物流施設、戸建住宅等(以下「建築物等」)で、その建築物自体または敷地に生物多様性に配慮した緑地を計画、配置しているものとします。
- **申請者:** 対象建築物等の所有者または設計・施工・コンサルティング等に従事した者で、ABINC が主催する、いきもの共生事業所®推進ガイドライン講習会修了者としてします。
- **申請に必要な書類:** ABINC 講習会修了者専用ページからダウンロードしてください。
- **事前相談:** 申請事業者の方はもれなく事前相談を受けてください。手続き、提出書類、評価方法等をご説明いたします。事前相談は無料です。
- **審査方法:** いきもの共生事業所®推進ガイドラインに基づいてABINC 審査会が申請書類審査にて行います。
- **認証書の交付及び公表:** ABINC ホームページにて認証結果を公表します。
- **認証表示:** 認証を受けた申請者は対象建築物等に認証ロゴを表示することができます。
- **有効期間:** 認証書交付日から起算し 3 年とします。ただし、竣工前の対象建築物等については、竣工日から起算し 3 年とします。
- **申請費用:** 申請費用: 43 万 2,000 円、(上記施設所有者や申請者が JBIB 等関連企業、ABINC 会員企業の場合は 32 万 4,000 円 ※左記割引は申請担当者ではありませんのでご注意ください。)
- **スケジュール(予定)**

	第 6 回(2018 年度第 1 回)	第 7 回(2018 年度第 2 回)
事前相談開始	6 月 1 日	9 月 3 日
申請書類受付期間	7 月 1 日～8 月 31 日(締切)	10 月 1 日～11 月 30 日(締切)
審査会(1次審査)	9 月中旬	12 月中旬
認証委員会(最終審査)	10 月中旬	1 月中旬
審査結果発表(ABINC ホームページ) および認証証交付	11 月中～下旬	2 月中～下旬

問合せ: ABINC 事務局

MS&AD インターリスク総研(株) 安斉(アンザイ)
 (株)シーエーティ 吉村(ヨシムラ)、渡辺(ワタナベ)

e-mail: info@abinc.or.jp / abinc@catcorp.jp

ホームページ: <http://www.abinc.or.jp/> TEL: 070-6457-2261

■名称:一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

[英文名:Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community=略称ABINC(エイビンク)]

■設立:2013年12月25日

■理事、監事および顧問

代表理事:中静 透 (東北大学大学院生命科学研究科教授)

理事:亀山 章 (公益財団法人日本自然保護協会理事長、東京農工大学名誉教授)

理事:森本 幸裕 (京都大学名誉教授)

理事:黒田 大三郎(公益財団法人地球環境戦略研究機関シニアフェロー)

理事:足立 直樹 (一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ事務局長)

理事:原口 真 (一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ顧問)

監事:梶谷 修 (一般社団法人日本環境アセスメント協会会長)

顧問:川廷 昌弘 (一般社団法人CEPAジャパン代表)

顧問:窪木 登志子(窪木法律事務所 弁護士)

■事務局 MS&ADインターリスク総研株式会社内

【第5回ABINC認証事業所】 ※過去5回で全67件が認証されています。

【新規】認証施設 名称	主用途	事業者	施設所在地
凸版印刷株式会社 総合研究所	工場	凸版印刷	埼玉県北葛飾郡
長谷工テクニカルセンター	工場	長谷工コーポレーション	東京都多摩市
三鷹市計画	集合住宅	野村不動産 日清紡ホールディングス	東京都三鷹市
(仮称)名古屋市西区則武新町3丁目計画	集合住宅	三菱地所レジデンス 三菱商事	愛知県名古屋市
(仮称)福岡市中央区地行浜2丁目計画	集合住宅	三菱地所レジデンス 積水ハウス 西日本鉄道	福岡県福岡市
エコアイディア工場びわ湖「共存の森」	工場	パナソニック	滋賀県草津市
プレミスト有明ガーデンズ	集合住宅	大和ハウス工業	東京都江東区
日野市計画	集合住宅	野村不動産	東京都日野市
武蔵小金井駅南口第2地区第一種市街地再開発事業	集合住宅	武蔵小金井駅南口第2地区 市街地再開発組合 野村不動産	東京都小金井市
(仮称)西宮市仁川計画 新築工事	集合住宅	総合地所 関電不動産開発 山陽電気鉄道	兵庫県西宮市・ 宝塚市
横浜ゴム株式会社 尾道工場	工場	横浜ゴム	広島県尾道市
花王株式会社 川崎工場	工場	花王	神奈川県川崎市
イオンモール松本	商業施設	イオンモール	長野県松本市
(仮称)ライオンズ鶴瀬	集合住宅	大京 穴吹工務店	埼玉県富士見市
大日本印刷株式会社 市谷の杜	オフィス	大日本印刷	東京都新宿区
ライオンズ守山マークヒルズ	集合住宅	大京 菱重プロパティーズ	愛知県名古屋市
(仮称)鎌倉市岩瀬1丁目計画	集合住宅	三菱地所レジデンス	神奈川県鎌倉市
ザ・パークハウス 和光市	集合住宅	三菱地所レジデンス	埼玉県和光市

(仮称)エスロジ新座 W棟	物流施設	清水建設	埼玉県新座市
【更新】認証施設 名称	主用途	事業者	施設所在地
盛岡セイコー工業株式会社	工場	セイコーインスツル	岩手県岩手郡
株式会社トッパンパッケージプロダクツ 深谷工場	工場	凸版印刷	埼玉県深谷市
JXTGエネルギー株式会社 知多製造所	工場	JXTGエネルギー	愛知県知多市
花王株式会社 鹿島工場	工場	花王	茨城県神栖市
清水建設株式会社 技術研究所	工場	清水建設	東京都江東区
イオンモール多摩平の森	商業施設	イオンモール	東京都日野市
飯野ビルディング	商業施設	飯野海運	東京都千代田区

【 ABINCの活動理念 】

生物多様性条約第10回締約国会議(CBD COP10)において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、ビジネスの貢献が求められています。

当法人は、「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協働して、いきものと人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的として設立されました。活動の第一弾として、JBIB(一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ)が開発した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づく、オフィスビルと商業施設を対象とした「いきもの共生事業所®認証」(通称:ABINC認証)を2013年度より開始いたしました。

※いきもの共生事業所は、JBIBの登録商標です。